

算数科 小学校 第3学年 十日市場小学校 評価規準

■評価の観点とその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・数の表し方、整数の計算の意味と性質、小数及び分数の意味と表し方、基本的な図形の概念、量の概念、棒グラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにしている。 ・整数などの計算をしたり、図形を構成したり、長さや重さなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり適切に判断したりする力などを身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。

算数科 小学校 第3学年

A 「数と計算」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「整数の表し方」		
内容のまとめりごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・万の単位について知っている。 ・10倍、100倍、1000倍、1/10の大きさの数及びそれらの表し方について知っている。 ・数の相対的な大きさについての理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数のまとめりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を考え、日常生活に生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとめりごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・万や億の単位について知っている。 ・10倍、100倍、1000倍、1/10の大きさの数及びそれらの表し方について知っている。 ・十、百、千、万を単位とする数の相対的な大きさの見方・考え方を用いて数を捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数のまとめりに着目し、万を超える数の大きさの比べ方や表し方を、図や数直線を用いるなどして考えている。 ・数を比べる際には、十進位取り記数法をもとに大きい位から見れば大小を比べられることに気付いている。 ・十、百、千、万を単位とする数の相対的な大きさの見方を活用して、計算の仕方を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・万の単位の数が使われていることを身の回りから見付け、その大きさをつかんだり読んだりしようとしている。

(2)「加法及び減法」		
内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・3位数や4位数の加法及び減法の計算が、2位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解している。また、それらの筆算の仕方について理解している。 ・加法及び減法の計算が確実にでき、それらを適切に用いることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・3位数や4位数の加法及び減法の計算が2位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解している。 ・3位数や4位数の加法及び減法の筆算の仕方について理解している。 ・3位数や4位数の加法及び減法の計算が確実にできる。 ・2位数どうしの加法及びその逆の減法の答えを暗算で求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3位数や4位数の加法及び減法の計算の仕方について、十進位取り記数法による数の表し方や十を単位としてみる数の見方を基に考えている。 ・加法及び減法に関して成り立つ性質を見いだしている。 ・加法及び減法に関して成り立つ性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したととをもとに、3位数や4位数の加法及び減法の計算の仕方を考えようとしている。
(3)「乗法」		
内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解している。また、その筆算の仕方について理解している。 ・乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いることができる。 ・乗法に関して成り立つ性質について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗法に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。

具体的な内容のまとめごとの評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 位数や 3 位数に 1 位数や 2 位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解している。 ・ 2 位数や 3 位数に 1 位数や 2 位数をかける乗法の筆算の仕方について理解している。 ・ 2 位数や 3 位数に 1 位数や 2 位数をかける乗法の筆算が確実にでき、それを適切に用いることができる。 ・ 乗法の交換法則、結合法則、分配法則など、乗法に関して成り立つ性質について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被乗数を多面的に見たり、図と式を関連付けたりしながら、2 位数や 3 位数に 1 位数や 2 位数をかける乗法の計算の仕方を考えている。 ・ 計算の仕方を振り返ったり、数量と図と関連付けたりしながら、乗法の交換法則、結合法則、分配法則など、計算に関して成り立つ性質を見いだしている。 ・ 計算に関して成り立つ性質を活用して計算を工夫している。 ・ 計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の確かめをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗法の計算の仕方を振り返り、被乗数をどのようにみると既習の計算が使えるのかについて気付き、次の学習に活用しようとしている。 ・ 計算に関して成り立つ性質を使うと計算が工夫できるというよさに気付き、計算するときに活用しようとしている。 ・ 筆算をしたり見積りをしたりする際に、暗算が生かせるというよさに気付き、実際にしようとしている。
--	---	--

(4)「除法」

内容のまとめごとの評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・ 除法の意味について理解し、それが用いられる場合について知っている。また、余りについて知っている。 ・ 除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 ・ 除法と乗法や減法との関係について理解している。 ・ 除数と商が共に 1 位数である除法の計算が確実にできる。 ・ 簡単な場合について、除数が 1 位数で商が 2 位数の除法の計算の仕方を知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしていると、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 ・ 数量の関係に着目し、計算を日常生活に生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 除法に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
--	--	---

具体的な内容のまとめごとの評価規準

<ul style="list-style-type: none"> ・ 包含除や等分除など、除法の意味について理解し、それが用いられる場合について知っている。 ・ 除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 ・ 除法と乗法や減法との関係について理解している。 ・ 除数と商が共に 1 位数である除法の計算が確実にできる。 ・ 割り切れない場合に余りを出すことや、余りは除数より小さいことを知っている。 ・ 簡単な場合について、除数が 1 位数で商が 2 位数の除法の計算の仕方を知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 除法が用いられる場面の数量の関係を考え、具体物や図などを用いて考えている。 ・ 除法は乗法の逆算と捉え、除法の計算の仕方を考えている。 ・ 余りのある除法の余りについて、日常生活の場面に応じて考えている。 ・ 日常生活の問題を除法を活用して解決している。 ・ 簡単な場合について、除数が 1 位数で商が 2 位数の除法の計算の仕方を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 除法が用いられ場面の数量の関係を、具体物や図などを用いて考えようとしている。 ・ 除法の場面を身の回りから見付け、除法を用いようとしている。 ・ 自分が考えた除法の計算の仕方について、具体物や図と式を関連付けて考えようとしている。
--	--	---

(5)「小数とその表し方」		
内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・端数部分の大きさを表すのに小数を用いることを知っている。また、小数の表し方及び $1/10$ の位について知っている。 ・$1/10$ の位までの小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数のまとまりに着目し、小数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えるとともに、小数を日常生活に生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・端数部分の大きさを表すのに小数を用いることを知っている。 ・小数の表し方及び $1/10$ の位について知っている。 ・量を測定する単位の構成が、十進構造になっていることについて理解している。 ・$1/10$ の位までの小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小数の大きさについて、図や数直線を用いて表したり、0.1 の幾つ分かを考えたりして、大きさを比べたり、小数の加法及び減法の計算の仕方を考えたりしている。 ・小数やその計算が日常生活にも使えることに気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小数でも数の大きさを比べたり、計算したりできるかどうか考えたことを振り返り、0.1 の幾つ分と見ることで整数と同じ見方ができることに気付き、次の学習に活用しようとしている。 ・端数部分の大きさを表すことができるというよさに気付き、身の回りから、小数が用いられる場面を見付けようとしている。
(6)「分数とその表し方」		
内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることを知っている。また、分数の表し方について知っている。 ・分数が単位分数の幾つ分かで表すことができることを知っている。 ・簡単な場合について、分数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができることを知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えているとともに、分数を日常生活に生かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> ・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることを知っている。 ・分数が単位分数の幾つ分かで表すことができることを知っている。 ・数直線を用いて、0.1 と $1/10$ の大きさが等しいことを理解している。 ・同分母の分数の加法及び減法の意味について理解している。 ・真分数どうしの加法及び減法、和が 1 までの加法とその逆の減法の計算の仕方を知っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同分母どうしの場合、単位分数を基に、分子の大きさを比べることができることに気付き、分数の大きさを比べている。 ・単位分数の幾つ分と見ることで、整数と同じように処理できることに気付き、同分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を考えている。 ・同分母の分数の加法及び減法の計算の仕方について、日常生活における場面を基に考えたり、図に表して考えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・端数部分の大きさを分数を用いて表そうとしている。 ・数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えようとしている。 ・身の回りから、分数が用いられる場面を見付けようとしている。 ・単位として都合のよい大きさを選ぶことで、小数では表せない数も表すことができるよさに気付いている。

(7)「数量の関係を表す式」		
内容のまとめごとの評価規準		
・数量の関係を表す式について理解するとともに、数量を□などを用いて表し、その関係を式に表したり、□などに数を当てはめて調べたりすることができる。	・数量の関係に着目し、数量の関係を図や式を用いて簡潔に表したり、式と図を関連付けて式を読んだりしている。	・数量の関係を表す式に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとめごとの評価規準		
・未知の数量を□などを用いて表すことにより、数量の関係を式で表せることを理解している。 ・未知の数量を□などを用いて表し、その関係を式に表すことができる。 ・未知の数量を□などを用いて表した式について、□に数を当てはめて調べることができる。	・数量の関係に着目し、数量の関係を図や、□などを用いた式に、簡潔に表している。 ・□などを用いて表した式そのものが、一つの数量を表していることに気付き、式と図を関連付けて、式が表している場面の意味を読み取っている。	・数量の関係を図に表したことを振り返り、□などを用いた式に表すよさに気付き、□などを用いた式を問題解決に生かそうとしている。
(8)「そろばん」		
内容のまとめごとの評価規準		
・そろばんによる数の表し方について知っている。 ・簡単な加法及び減法の計算の仕方について知り、計算している。	・そろばんの仕組みに着目し、大きな数や小数の計算の仕方を考えている。	・そろばんに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとめごとの評価規準		
・そろばんによる数の表し方について知っている。 ・そろばんによる簡単な1位数や2位数の加法及び減法の計算の仕方について知り、計算している。	・そろばんによる大きな数や小数の加法及び減法の計算の仕方を考えている。	・そろばんによる数の表し方を振り返り、十進位取り記数法の仕組みでそろばんが作られているよさに気付き、そろばんで整数や小数を表したり、計算したりしようとしている。

算数科 小学校 第3学年

B 「図形」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「図形」		
内容のまとめごとの評価規準		
・二等辺三角形、正三角形などについて知り、作図などを通してそれらの関係に次第に着目している。 ・基本的な図形と関連して角について知っている。 ・円について、中心、半径、直径を知っている。また、円に関連して、球についても直径などを知っている。	・図形を構成する要素に着目し、構成の仕方をもとに、図形の性質を見だし、身の回りのものの形を図形として捉えている。	・図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。

具体的な内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形、正三角形、直角に等辺三角形の意味や性質を理解している。 二等辺三角形や正三角形を、定規やコンパスを用いて作図することができる。 二等辺三角形を作図する中で、正三角形が作図できることに気付いている。 一つの頂点から出る2本の辺が作る形を角ということを知っている。 円や球について、中心、半径、直径の意味やそれぞれのもつ性質を知っている。 コンパスを用いて、円を作図することなどができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形、正三角形などの三角形を観察し、違いに気付いて分類し、それらの特徴を見いだしている。 二等辺三角形や正三角形を紙で作ったり、作図したりすることを通して、二等辺三角形や正三角形の性質を見いだしている。 円の半径や直径を観察したり、作図したりすることを通して、円の半径や直径は無数にあるなどの性質を見いだしている。 球の観察などを通して、球を平面で切ると切り口は円になり、球をちょうど半分に切った場合の切り口が最大になるなどの性質を見いだしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形や正三角形の観察や構成を通して、それらの特徴や性質を見いだそうとしている。 二等辺三角形の作図の仕方を振り返り、正三角形の作図に活用しようとしている。 二等辺三角形や正三角形が敷き詰められることなど、二等辺三角形や正三角形のよさに気付く、身の回りの二等辺三角形や正三角形が日常生活でどのように活用されているのか調べようとしている。 円と球に関心をもち、特徴を調べようとしている。 身の回りの円や球が、日常生活でどのように活用されているのか調べようとしている。

算数科 小学校 第3学年

C 「測定」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1) 「量の単位と測定」		
内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> 長さの単位(キロメートル(km))及び重さの単位(グラム(g)、キログラム(kg))について知り、測定の意味を理解している。 長さや重さについて、適切な単位で表したり、およその見当を付け計器を適切に選んで測定したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りのものの特徴に着目し、単位の関係を統合的に考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> 量を比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付く生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとめごとの評価規準		
<ul style="list-style-type: none"> 長さの単位(km)及び重さの単位(g、kg、t)について知り、長さや重さも単位の幾つ分かで測定できることを理解している。 ものの長さや重さについて、適切な単位で表すことができる。 長さや重さについて、およその見当を付け、計器を適切に選んで測定することができる。 メートル法の単位の仕組みについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 長さ、体積、重さについて、1kmは1000m、1Lは1000mL、1kgは1000gなどの関係を基に、既習の単位を整理し、接頭語が表す倍の関係などに気付いている。 メートル法の単位の仕組みを活用し、新しい単位に出会ったときも類推して量の大きさを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 長さや重さについて、およその見当を付け、効率的に測定しようとしている。 長さや重さなどの単位を用いて表したことを振り返り、「m」「c」「k」などの接頭語が共通に用いられているというメートル法の単位の仕組みのよさに気付く、身の回りで使われている新しい量の単位に出会ったときも類推してその単位の大きさや関係について考えようとしている。

(2)「時刻と時間」		
内容のまとめごとの評価規準		
・秒について知っている。 ・日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。	・時間の単位に着目し、時刻や時間の求め方について考察し、日常生活に生かしている。	・時刻と時間に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとめごとの評価規準		
・秒について知っている。 ・日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。	・日常生活の場面について、時計の模型や数直線を用いて時刻や時間の求め方について考えている。	・1秒や10秒、60秒の感覚を手をたたくなどの体験を通して捉えようとしている。 ・必要になる時刻や時間を測定して表したり、必要な時刻や時間の求め方について考えたりしようとしている。 ・日常生活で時間の単位(秒)が用いられている場面を調べようとしている。

算数科 小学校 第3学年

D「データの活用」の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1)「データの分析」		
内容のまとめごとの評価規準		
・日時の観点や場所の観点などからデータを分類整理し、表に表したり読んだりすることができる。 棒グラフの特徴やその用い方を理解している。	・データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察して、見いだしたことを表現している。	・データを分析することに関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き生活や学習に活用しようとしている。
具体的な内容のまとめごとの評価規準		
・日時の観点や場所の観点などからデータを分類整理し、簡単な二次元の表に表したり読んだりすることができる。 ・棒グラフで表すと、数量の大小や差などがとらえやすくなることなど、棒グラフの特徴やその用い方を理解している。	・データをどのように分類整理すればよいかについて、解決したい問題に応じて観点を定めている。 ・身の回りの事象について、表や棒グラフに表し、特徴や傾向を捉え考えたことを表現したり、複数のグラフを比較して相違点を考えたりしている。	・進んでデータを分類整理し、それを表や棒グラフに表して読み取るなどの統計的な問題解決のよさに気付き、生活や学習に活用しようとしている。